

夢 展 望

第19期 株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日



www.dreamv.co.jp

◆ Top Message



代表取締役社長
岡 隆宏

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、第19期株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

【今期の振り返り】

今期の当社業績は、売上面においては引き続き厳しい状況となりましたが、利益面においては赤字幅が縮小し改善傾向となりました。

当連結会計年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)におけるわが国経済は、円安と株高を背景に輸出企業を中心に業績回復基調が見られたものの、中国経済の失速等による世界的な景気低迷を受け、一部回復に陰りが見られました。そのような状況の中、個人消費は依然として節約志向等により消費マインドの足踏み状態が続いているものと思われまます。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、個人消費の低迷に加え、記録的暖冬の影響もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような市場環境のもと当社グループは、基幹事業である衣料品販売事業におきまして、前連結会計年度の後半よりターゲット顧客の絞り込みを目的としたブランド戦略の見直しを行い、“夢展望でしか買えない”ニッチな商品・ブランドをメインに据え、また、競合の少ないカテゴリー商品の取扱量を増やす戦略を進めてまいりました。さらに、有名タレントの起用等によりブランドイメージの刷新にも努めてまいりました。しかしながら、これらの戦略の成果が必ずしも見出せない状況が続き、特に秋冬商戦においては、ブランド戦略の転換により廃止したブランドの前年同期比並みの売上を、注力したニッチな商品・ブランドでカバーすることができず、全国的な高気温の影響も相まって、売上が計画を大きく下回ることとなりました。このような状況を鑑みて、再度ブランド戦略の見直しを行うことといたしました。さらに、健康コーポレーション株式会社グループとの人材交流等により構築された新体制のもと、業績不振からの脱却を早期に果たすべく様々な面において抜本的な改革を進めて

まいりました。その改革の成果として、販売費及び一般管理費におきましては、運賃梱包費、販売手数料等の売上高の減少に連動して削減された変動経費に加え、支払手数料、賃借料といった固定費に関しては、当初予算に比べ大幅な削減が実現いたしました。前連結会計年度(平成26年10月1日～平成27年3月31日の変則6ヶ月決算)に比べ、親会社株主に帰属する当期純損失においては、特別損失等の計上を行ったにもかかわらず、前連結会計年度の704百万円から、548百万円にまで縮小されました。

再度のブランド戦略の見直しにつきましては、かつてのボリュームゾーンであったトレンドミックス系ブランドを廃止した影響が売上高において予想以上に大きく現れたことを鑑み、トレンドミックス系ブランドの再編を行うことといたしました。そのトレンドミックス系ブランドの再編が平成28年3月に始動し、さらに、自社販売サイトの全面リニューアルや展示会の開催、SNS広告の強化、大型の雑誌広告掲載等の各種施策も3月よりスタートしております。これらの効果につきましては、一般顧客の多いモール系店舗(楽天市場やShop List等)で先行して現れてきておりますが、モール系店舗と比較して新規流入顧客数の少ない自社販売サイトでは、当連結会計年度については、その効果の発現は限定的なものとなっております。

【今期の戦略】

今期におきましても、前期より開始した抜本的な改革を引き続き推進し、早期の業績回復に全力を尽くしてまいります。

トレンドミックス系ブランドにより再構築したブランドポートフォリオのもと、夢展望らしいニッチな商品も含めて、お客様の欲しいものを幅広いテイストで提案し、多くのお客様にお買い物を楽しんでいただける商品展開を進めてまいります。そのような商品企画に合わせて、販売サイトにおいては、幅広い商品展開に合わせてコーディネート提案を積極的に進めるとともに、商品の良さをよりわかっているように商品説明ページにおける「接客要素」も強化を進めてまいります。

ブランド戦略の実行におきましては、商品企画力の向上とMD(マーチャライジング)機能の強化は欠かせないものと考えておりますが、今期に入り、夢展望最盛期の企画担当者が複数復帰し、企画力の厚みは大幅に改善する見込みであります。MD機能においても企画担当者等との連携強化により改善が見込まれます。

販売促進戦略におきましては、既存顧客に対する効果的なメール配信、SEO改善や効果的な広告戦略、さらにはSNS広告の積極活用等により新規顧客獲得を引き続き進めてまいります。

親会社である健康コーポレーショングループともノウハウの共有や連携を強化し、成長路線への早期の復帰を目指してまいります。

◆ Topics

【リブランディング始動】

「夢展望」は、この3月からリブランディングを始動しました。

商品においては、夢展望でしか買えない夢展望らしい個性的な商品や競合の少ないニッチな市場に対するブランド展開を維持しつつ、それらのブランドと親和性の高いトレンドミックス系のブランドを再編いたしました。3月にはそのお披露目として、東京の表参道で、マスコミ関係者やモデル、スタイリスト等の方々を招待し展示会を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

時期を合わせて、お客様の使いやすさや見えやすさを追求した自社サイトの全面リニューアルを行い、また、大型雑誌広告により新しい夢展望の商品をお客様に全面的にアピールいたしました。



【監査等委員会設置会社への移行について】

当社は、平成28年6月29日開催の第19期定時株主総会において、株主の皆様のご承認をいただき「監査等委員会設置会社」へ移行いたしました。

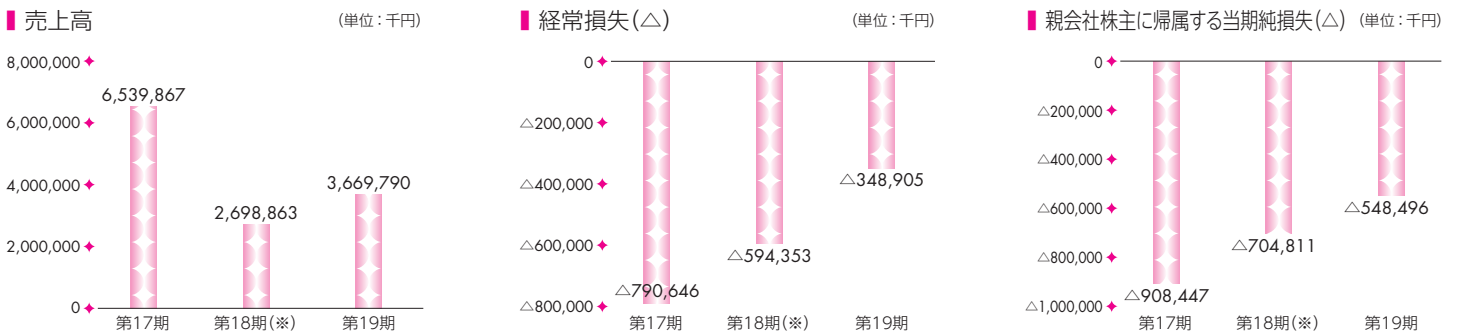
「監査等委員会設置会社」の制度は、平成27年5月1日に施行された「会社法の一部を改正する法律」（平成26年法律第90号）により新たに創設された機関設計ではありますが、当社は、取締役会の監督機能を強化し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ることを目的として、この「監査等委員会設置会社」の制度を採用し、「監査等委員会設置会社」へ移行いたしました。

この監査等委員会設置会社への移行に伴い、同日の定時株主総会において、新たに監査等委員である取締役3名（うち2名が社外取締役）が選任されました。

◆ Financial Data

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は3,669百万円、営業損失は324百万円、経常損失は348百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は548百万円となりました。

連結決算ハイライト (※)第18期は、平成26年10月1日から平成27年3月31日までの6ヶ月決算となっております。



◆ Corporate Data / Stock Information

■ 会社の概要 (平成28年3月31日現在)

社名 夢展望株式会社
DREAM VISION CO., LTD.
設立 平成10年5月
資本金 100百万円
本社 大阪府池田市石橋三丁目2番1号
従業員数 連結:97名 単体:62名

■ 役員 (平成28年6月29日現在)

役名	氏名
代表取締役社長	岡 隆 宏
専務取締役	田 中 啓 晴
取締役	濱 中 眞 紀 夫
取締役 監査等委員(社外)	石 原 康 成
取締役 監査等委員	八 島 隆 雄
取締役 監査等委員(社外)	古 川 純 平

■ 株式の状況

発行可能株式総数 5,616,000株
発行済株式の総数 5,304,000株
株主数 1,600名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
健康コーポレーション株式会社	3,900	73.53
岡 隆宏	536	10.11
田中 啓晴	72	1.36
吉田 知広	40	0.76
岡 美香	36	0.68
片山 文雄	33	0.63
株式会社SBI証券	28	0.54
和田 修	22	0.43
岡 諒一郎	18	0.34
岡 駿志郎	18	0.34

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
<<http://www.dreamv.co.jp>>
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞にて掲載いたします。
上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>